

モニタリング結果報告書 (平成29年度)

1. 施設概要

施設名	かながわアートホール		
所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区花見台4番2号		
サイトURL	http://www.kanagawa-arthall.jp/		
根拠条例	神奈川県立かながわアートホール条例		
設置目的(設置時期)	県民の文化芸術に関する活動の振興及び福祉の増進を図るため (H20.3)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団グループ		
指定期間	H27. 4. 1～H32. 3. 31	施設所管課	文化課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はA評価であったが、満足度、収支状況がS評価だったため、3項目評価はS評価となった。</p> <p>平成29年度は新たな取組みとして「野外コンサート」を試行し、事業形態、動員等、次年度からの本格実施に向けて手応えを得た。</p> <p>今後も文化芸術に親しんでいただく環境を提供するという観点から様々な企画・イベントを立案し、より多くの方に音楽に興味を持っていただけるような取組みに努めていく。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 昨年度から立ち上げた「アートホール・みんなの音楽プロジェクト」が2年目を迎えた。昨年度のご意見、改善点等を踏まえた見直しを行い、参加者がより楽しんで満足いただけるように努めた。応募者数が定員オーバーとなるほどの人気をみせた楽器経験者の子どもを対象とした冬期企画「神奈川フィル・ジュニアオーケストラ」に加え、楽器未経験者の子ども等を対象とした夏期企画は内容を変更し、「かなフィルランド～ミュージック・プレーパーク～」と題して様々なイベントを開催することで、より音楽に触れ親しんでいただけるよう改善した。</p> <p>また、今年度もみんなの音楽プロジェクト開催日と合わせてカジュアルコンサートを実施し、指定管理者の構成員として神奈川フィルが参画している特色を活かし、アートホールならではの企画を開催することができた。</p> <p>更に、地域に根差したホールとしての様々な取組みを行った。地元の中学校・高校の吹奏楽部が出演したキッズコンサート、ほどがや区民まつりに合わせ実施した「スペシャルコンサート」に加え、アートホールのテラスをステージとした「野外コンサート」を試行し、盛況であった。</p>	
<p>◆利用状況 来場者数は前年度より約1.4千人の増加となり、目標比107%のA評価となった。</p>	
<p>◆利用者の満足度 無回答を除いた回答のうち、9割以上が「満足」「どちらかといえば満足」であったため、前年度に引き続きS評価となった。しかし、3件ではあるものの「どちらかといえば不満」の回答があったことを踏まえ、さらに高水準の取組みを行っていく。</p>	
<p>◆収支状況 利用料収入が予算から79千円の減額となっているが、収支比率107.79%であったためS評価となった。</p>	
<p>◆事故・不祥事等 経年劣化による不具合が2件発生した（ホールスタジオの扉、外灯の不点灯）。まだ解決できていない案件があるため平成30年度中に対処する。</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
S	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月1回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p><事業の実施> 県民の方々に文化芸術に親しむきっかけを提供し、アートホールが地域の文化芸術振興の担い手となるよう事業を行う。</p>	<p>○「アートホール・みんなの音楽プロジェクト」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏期企画：かなフィルランド～ミュージックプレーパーク～（平成29年8月20日） 神奈川フィルの室内楽コンサート4回、楽器体験、クイズラリーなどのイベントを開催。応募者数1,658人（延べ1,888人）、当選者数874人、来場者数641人（楽器体験、カジュアルコンサート合計）であった。 ・冬期企画：神奈川フィル・ジュニアオーケストラ（平成29年11月12日～平成30年1月8日） 11月12日の開講式および練習に始まり、小学校4年生～高校3年生の52名の受講生が神奈川フィル団員による指導や合奏等6日間の練習を経て、神奈川フィルとともに修了コンサートに臨んだ。 ○映画や音楽映像のDVDを上映する「DVDコンサート」を毎月開催した。年度後半は要望に応え、土日、休日開催としたことにより入場者数は18%増加した。 (H28年度 886人、H29年度 1,049人) 	

<p><保土ヶ谷公園や地域と連携した取り組み> 保土ヶ谷公園利用者や地域の方々に向けた取り組みを行う。</p>	<p>○キッズコンサートを保土ヶ谷公園「梅まつり」に併せて開催した。</p> <p>○神奈川フィルリハーサル公開情報やDVDコンサート情報を公園掲示板に掲示した。</p> <p>○保土ヶ谷区制90周年イベントとして、ほどがや区民まつり開催日に「スペシャルコンサート」を開催。「打楽器スペシャル」と題した、保土ヶ谷区在住、出身の団体により和太鼓、バンド、スチールパンの演奏会を催した。</p> <p>○アートホールから聴こえる音楽によって心が豊かになるよう、「アートホール『音の道』プロジェクト」と題し、アートホール入口のテラスをステージとした「野外コンサート」を試行した。</p>	
---	--	--

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	《評価の目安》
A	目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数※	49,936	54,059	55,438
対前年度比		108.3%	102.6%
目標値	50,000	51,130	51,510
目標達成率	99.9%	105.7%	107.6%

目標値の設定根拠：

事業計画書

利用者数の算出方法（対象）：

ホール、スタジオ、音楽情報コーナーの利用者数と来場者数の合計（ホール、スタジオについては利用者からの申告人数、音楽情報コーナーについては職員がカウント）

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	(1) 簡易アンケート 利用施設の窓口に常時用紙を備え、利用者に記入していただくなど、簡便な方法で随時に実施するアンケート。 (2) 詳細アンケート 最低年1回、時期を定めて、より詳細な質問項目のアンケートを管理施設の利用者に配布し、管理施設ホームページでも実施し分析する。8月と1月に実施。	協定に定めた最低年1回の詳細アンケートを、8月1日～31日と1月5日～31日に実施した。 有効回答数は270件であった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 当館の運営や管理についての総合評価をお聞かせください。

実施した調査の配布方法 用紙配布、ホームページ 回収数/配布数 270 / 849 = 31.8%

配布(サンプル)対象 ホール、スタジオ利用者に配布、来館用ロビーに配架、カジュアルコンサート来場者に配布、ホームページに回答欄掲載

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	198	46	3	0	247	
回答率	80.2%	18.6%	1.2%	0.0%		
前年度の回答数	212	67	8	0	287	
前年度回答率	73.9%	23.3%	2.8%			
回答率の対前年度比	108.5%	79.8%	43.6%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマ イナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
平成27 年度	当初 予算	105,454	15,557	5,020	立替収入	126,031	126,031	0	
	決算	105,454	17,097	5,190	備考の とおり	127,741	113,490	14,251	112.56%
平成28 年度	当初 予算	104,487	15,604	5,655	立替収入・ 事業収入	125,746	125,746	0	
	決算	104,487	16,412	6,240	備考の とおり	127,139	115,822	11,317	109.77%
平成29 年度	当初 予算	104,419	15,690	5,770	立替収入・ 事業収入	125,879	125,493	386	
	決算	104,419	15,611	6,163	備考の とおり	126,193	117,068	9,125	107.79%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

29年度 /

前年度 /

前々年度 /

<備考>

【その他収入の内訳】

(前々年度・決算) 立替収入：5,152、雑収入：38

(前年度・決算) 立替収入：5,050、事業収入：670、雑収入：520

(29年度・決算) 立替収入：5,318、事業収入：831、雑収入：14

【当初予算と異なる額及び費目】

故障等が計画当初より少なかったため、修繕費支出が見込みより少なくなった。(当初予算比△4,061千円)

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	満足度 調査	1 件	利用者向けWi-Fiを設置して欲しい。	支障が無ければ、平成30年度に導入を進めたい。
	対面	1 件	ホールの空調が効かない。	3月に修繕し、対応済み。
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
H29. 8. 20	①早朝、前日の大雨の影響により池水の機械ポンプが停止し、ポンプ室タンクから水があふれた。 ②同日、別件で施設を訪問した際に指定管理者から報告を受け、現場を目視確認。水はすでに引いていたが壁に濡れた跡があった。速やかに業者に連絡し修理する方向で指定管理者と調整した。 ③H29. 9. 6 ポンプの修理が完了した。 ④無 ⑤機械の老朽化が原因。修理代は指定管理者が負担。 ⑥無
H29. 12. 10	①ホール入口の扉が自重により床面と擦っているため開閉時に引っ掛かることがある。 ②口頭にて報告を受けた。 ③県の各所営繕工事で対応できるか検討中。 ④有 利用者から意見あり。 ⑤老朽化が原因。 ⑥無
H30. 1. 9	①漏電の発報あり。また、街灯について、ホール前側 6 本のうち 3 本が不点灯となった。 ②口頭にて報告を受けた。 ③漏電についてはH30. 1. 13に修理完了。不点灯の街灯 3 本のうち 1 本は電球切れが原因であり、H30. 2. 27修理完了。残り 2 本の不点灯の原因は断線とソケット部分の腐食であるが、修理業者が部品を探している。 ④無 ⑤機器の老朽化が原因。修理代は指定管理者が負担。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。